

第十六條 病組員分創價又ハ疾病ノ爲メ休業シタル場合ハ休業日數ニ十日毎ニ金四圓宛救済ス但シ五回キ以テ限リトス

第十七條 組合員又ハ病組員分前二條ノ救済ヲ受クル期間組合數ヲ免除ス

第十八條 組合員又ハ病組員分第十五條第十六條ニ依リ三回以上再救済ヲ受ケタル場合ニハ其ノ最後ノ救済ヲ受ケタル月ヨリ六ヶ月以上経過スルニテラサレハ更ニ同様ノ救済ヲ受ケル

第十九條 組合員又ハ病組員分轉地療養ヲ爲シタル場合ニハ第十五條第十六條ヲ適用セズ但シ埋葬ハ救世會ノ承認ヲ經テ第十五條第十六條ノ救済ノ範圍内ノ金額ヲ負擔シテ之ヲ贈與スルコトヲ得ルモノトス

第二十條 組合員分創價又ハ疾病ノ爲メニ職ニ據エヌシテ退職シタル場合ニハ金貳拾圓ヲ救済ス

第二十一條 病組員分創價又ハ疾病ノ爲メ職ニ據ヘヌシテ退職シタル場合ニハ金五圓ヲ救済ス

第二十二條 組合員分三ヶ年以上組合費ヲ繼續納付シタル者ニシテ自己ノ都合ニ依リ退職シタル場合ニハ金五圓ヲ贈與ス

第二十三條 病組員分三ヶ年以上組合費ヲ繼續納付シタル者ニシテ自己ノ都合ニ依リ退職シタル場合ニハ金貳拾圓ヲ贈與ス

第二十四條 組合員分僱主ノ都合ニ依リ他工場ニ轉働セラル、場合ハ金五圓ヲ贈與ス

第二十五條 組合員分僱主ノ都合ニ依リ解雇セラレタル場合ハ金貳拾圓ヲ贈與ス

第二十六條 理事ハ組合員又ハ病組員分退職又ハ轉働若クハ轉動理由如何ニ拘ラズ其ノ組合員又ハ病組員分本組合ニ特ニ功勞アリタルモノト認ムル者ナル時ハ委員會ノ協賛ヲ經テ積立金若クハ維持費ヨリ相當ノ金額ヲ支出シテ贈與スルコトヲ得

理事ノ前項ノ金額ヲ贈與スルノミナラズ幹事會ノ承認ヲ經テ本組合員及ヒ病組員ヨリ相當義捐金ヲ募リテ贈與スルコトヲ得

第二十七條 組合員分火災ニ罹リタル場合ハ金五圓ヲ救済ス

第二十八條 組合員分一ヶ年以上組合費ヲ繼續納付シタル者ニシテ出產ノ爲メ休業シ又ハ兵役ノ爲メ新タニ入營シ若クハ出征スル場合ニハ金參圓ヲ贈與ス

第二十九條 組合員又ハ病組員分第十五條第十六條ノ救済ヲ受ケンカ爲メニ故意ニ休業日數ヲ延長シタルモノト幹事會ニ於テ決議シタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第三十條 組合員及ヒ病組員分退職ハ第二十條第二十二條ヲ適用スルノ必要ナキモノト幹事會ニ於テ決議シタル場合ニハ之ヲ適用セズ但シ二十二條第二十三條ヲ適用ヲ妨ケズ

第三十一條 第二十二條乃至第二十五條ノ規定ハ其ノ原因ハ組合員及ヒ病組員分ノ不正行為ニ起因スルモノト幹事會ニ於テ決議シタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第三十二條 第十九條第二十九條第三十條ノ規定ハ醫師ノ診斷ノ如何ニヨリテ其効力ヲ妨ケラル、トナシ

第三十三條 組合員及ヒ病組員分第十九條第二十九條第三十條第二十一條ノ幹事會ノ決議ニ基キ

第三十四條 本規則ヲ改正又ハ増補セントスル時ハ理事ハ委員會ヲ召集シ四分ノ三以上協賛ヲ經テ其ノ適用ヲ受ケタル場合ト雖モ絕對ニ抗議ヲ爲スコトヲ得ス

第三十五條 本規則ハ大正七年七月一日ヨリ實施ス

附 言

本規則ハ大正八年十一月改正ヲシテ大正九年二月ヨリ改正條項ヲ實施スルモノトス